



## 平成30年4月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年3月9日

上場会社名 サトウ食品工業株式会社(登記社名:佐藤食品工業株式会社)

上場取引所 東

コード番号 2923 URL <http://www.satosyokuhin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 元

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 近藤 充

TEL 025-275-1100

四半期報告書提出予定日 平成30年3月16日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年4月期第3四半期の連結業績(平成29年5月1日～平成30年1月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年4月期第3四半期	31,966	5.2	1,135	22.4	1,201	22.1	860	16.7
29年4月期第3四半期	30,392	2.6	1,462	5.7	1,542	7.0	1,032	1.4

(注) 包括利益 30年4月期第3四半期 906百万円 (21.4%) 29年4月期第3四半期 1,153百万円 (16.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年4月期第3四半期	170.64	
29年4月期第3四半期	214.96	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年4月期第3四半期	34,679	12,288	35.4
29年4月期	28,665	11,475	40.0

(参考) 自己資本 30年4月期第3四半期 12,288百万円 29年4月期 11,475百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年4月期		0.00		14.00	14.00
30年4月期		0.00			
30年4月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成30年4月期の連結業績予想(平成29年5月1日～平成30年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,300	3.3	1,160	7.0	1,230	7.9	820	2.4	170.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年4月期3Q	5,075,500 株	29年4月期	5,075,500 株
期末自己株式数	30年4月期3Q	31,189 株	29年4月期	271,239 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年4月期3Q	5,044,366 株	29年4月期3Q	4,804,293 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(連結子会社の事業年度に関する事項の変更)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. その他	7
(1) 役員の変動	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成29年5月1日から平成30年1月31日まで)におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景に企業収益の改善や雇用情勢の持ち直しがみられるなど、緩やかな回復基調となりましたが、米国の政策動向、欧州の政治情勢、新興国経済の先行きや地政学的リスクの高まりなど不安定要素の世界経済への影響が懸念され、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような中、当社グループは、安全・安心かつおいしさの追求に重点をおいた包装餅び包装米飯の適正価格での安定供給に努めることを基本に、お客様の消費動向を捉えながら多様化するニーズに対応した販売活動を行ってまいりました。

当社グループは、食品事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しておりますが、製品分類別における販売の動向は以下のとおりであります。

包装餅製品では、昨年に引き続いて、当社と大手資材メーカーが共同開発し昨年秋より当社の全製品に展開してまいりました「ながモチフィルム」(酸素吸収機能をもつ透明な個包装フィルム)の特徴をCM等を通じ告知してまいりました。加えて、「サトウの鏡餅」シリーズのリニューアルとして「らくポイ鏡餅」、「賀正いっぼん洋風デコ」のデザインの刷新や、マスコット商品へのコリラックマの追加等ラインナップを充実させ、お正月のハレの日を演出するなど、年末の最需要期への配荷拡大を図りました。また、新商品として外食産業におけるメニュー用途提案商品として「サトウの切り餅 業務用うす切り餅」を発売し、さらなる需要拡大に向けた取り組みを実施いたしました。その結果、当社子会社である株式会社うさぎもちとのシナジー効果もあり、包装餅製品の売上高は174億8百万円(前年同期比0.0%増)となりました。

包装米飯製品では、当社が業界初の無菌化包装技術により開発・製品化した「サトウのごはん」が今年発売30周年となることを記念した『サトウのごはん誕生 30周年キャンペーン』を実施するとともに、他社との製法の違いをアピールする新CM『サトウのごはん「ず〜っと釜炊き」篇』を全国放映いたしました。さらに、新潟県からの開発要望を受け、「JA全農にいがた」と連携し、同県が開発した新品種のお米「新之助」を使用した「サトウのごはん 新潟県産 新之助」を10月より全国発売し配荷拡大につとめました。また、原料となる「国内産うるち米」の市場価格の上昇に加えて、人手不足による人件費と物流費の上昇が重なり、自社の努力のみではコストを吸収することが困難となったことから、主力の新潟県産コシヒカリを除く商品について昭和63年の発売以来初めてとなる販売価格の値上げを11月21日出荷分より実施いたしました。しかし、当社では日本古来の炊飯方法を忠実に再現した独自の製造技術(厚釜ガス直火炊き)により、電子レンジ2分で家庭と同様の炊き立てごはんを再現できることや製品名に原料米の産地銘柄を明確に表示していることが、お客様の利便性及び安全・安心意識にそれぞれマッチし、売上は堅調に推移いたしました。その結果、包装米飯製品の売上高は145億27百万円(前年同期比12.1%増)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高はその他製品30百万円(同16.7%減)を加えた319億66百万円(同5.2%増)となりました。

利益面につきましては、売上の増加にともない売上総利益が増加したものの、物流費および拡販施策の実施や販売量増加にともなう販売促進にかかる費用等の増加によって、営業利益は11億35百万円(同22.4%減)、経常利益は12億1百万円(同22.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益については8億60百万円(同16.6%減)となりました。

なお、当社グループは主力製品である包装餅が季節商品(特に鏡餅)であり、その販売が年末に集中するため、第3四半期連結会計期間の売上高及び利益が他の四半期連結会計期間に比べ著しく増加する傾向があります。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は346億79百万円となり、前連結会計年度末に比較し60億14百万円増加いたしました。これは、商品及び製品(前連結会計年度末比3億51百万円減)、仕掛品(同5億65百万円減)並びに有形固定資産(同4億9百万円減)が減少したものの、受取手形及び売掛金(同74億48百万円増)の増加が主な要因となっております。

## (負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債は223億91百万円となり、前連結会計年度末に比較し52億1百万円増加いたしました。これは、長期借入金(前連結会計年度末比4億65百万円減)、設備支払手形及び未払法人税等の減少により流動負債のその他(同4億68百万円減)が減少したものの、運転資金としての短期借入金(同51億円増)、未払金(同14億69百万円増)の増加が主な要因となっております。

## (純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比較し、親会社株主に帰属する四半期純利益等により、8億13百万円増加し、122億88百万円となりました。

なお、平成29年5月1日付けで自己株式の無償割当てを実施した結果、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ2億71百万円減少しております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年4月期決算短信(平成29年6月12日公表)において公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、配当予想の修正につきましては、本日公表の「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,854,733	1,876,535
受取手形及び売掛金	5,676,237	13,124,782
商品及び製品	1,365,608	1,013,909
仕掛品	1,077,731	512,116
原材料及び貯蔵品	2,617,136	2,646,833
その他	276,612	156,684
貸倒引当金	△4,560	△11,070
流動資産合計	12,863,499	19,319,792
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,514,113	3,449,945
機械装置及び運搬具(純額)	5,192,545	4,880,375
土地	2,347,426	2,347,426
その他(純額)	493,408	460,582
有形固定資産合計	11,547,493	11,138,329
無形固定資産	89,441	115,904
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	2,572,791	2,498,322
その他	1,610,631	1,627,482
貸倒引当金	△24,970	△24,970
投資その他の資産合計	4,158,452	4,100,835
固定資産合計	15,795,387	15,355,069
繰延資産	6,920	5,088
資産合計	28,665,807	34,679,950

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,096,290	925,315
短期借入金	1,250,000	6,350,000
未払金	2,448,441	3,917,750
引当金	347,975	163,700
その他	3,526,335	3,057,628
流動負債合計	8,669,043	14,414,393
固定負債		
社債	598,000	581,000
長期借入金	6,287,369	5,821,503
引当金	79,066	84,037
退職給付に係る負債	1,079,825	1,039,300
その他	476,724	450,872
固定負債合計	8,520,985	7,976,713
負債合計	17,190,029	22,391,106
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	543,775	543,775
資本剰余金	506,000	506,000
利益剰余金	10,352,617	10,849,057
自己株式	△306,274	△35,619
株主資本合計	11,096,117	11,863,212
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	670,938	689,006
退職給付に係る調整累計額	△291,278	△263,375
その他の包括利益累計額合計	379,660	425,630
純資産合計	11,475,777	12,288,843
負債純資産合計	28,665,807	34,679,950

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成29年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成30年1月31日)
売上高	30,392,649	31,966,562
売上原価	18,297,215	19,292,442
売上総利益	12,095,434	12,674,119
販売費及び一般管理費	10,632,536	11,538,477
営業利益	1,462,898	1,135,642
営業外収益		
受取利息	259	158
受取配当金	12,307	12,229
受取賃貸料	143,312	142,068
その他	152,433	126,657
営業外収益合計	308,313	281,113
営業外費用		
支払利息	83,782	80,575
賃貸費用	76,895	75,902
その他	68,444	58,486
営業外費用合計	229,122	214,963
経常利益	1,542,089	1,201,791
特別利益		
固定資産売却益	-	298
補助金収入	-	51,400
特別利益合計	-	51,698
特別損失		
固定資産売却損	8,102	-
固定資産除却損	-	23,309
特別損失合計	8,102	23,309
税金等調整前四半期純利益	1,533,987	1,230,180
法人税、住民税及び事業税	424,663	283,387
法人税等調整額	76,589	86,010
法人税等合計	501,253	369,397
四半期純利益	1,032,733	860,782
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,032,733	860,782

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成29年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成30年1月31日)
四半期純利益	1,032,733	860,782
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	94,658	18,068
退職給付に係る調整額	26,434	27,902
その他の包括利益合計	121,093	45,970
四半期包括利益	1,153,827	906,753
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,153,827	906,753
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、決算日が3月31日であった連結子会社の(株)うさぎもちについては、同日現在の財務諸表を使用し連結決算日との間に生じた重要な取引について、連結上必要な調整を行っていましたが、当第1四半期連結会計期間より決算日を4月30日に変更し、親会社の決算日に統一しております。この変更は、決算日を統一することにより適時・適切な会社情報の開示を徹底し、かつ、当社グループの予算編成や業績管理等、事業運営の効率化を図るためであります。

この変更により、当第3四半期連結累計期間は、平成29年5月1日から平成30年1月31日までの9ヵ月間を連結しております。なお、連結子会社の平成29年4月1日から平成29年4月30日までの1ヶ月間の損益については利益剰余金の増減として調整しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年5月1日 至 平成30年1月31日)

当社は、平成29年3月10日開催の取締役会決議に基づき、平成29年5月1日付で、自己株式240,213株の無償割当て(普通株式1株につき、普通株式0.05株の割合にて当社保有の自己株式を無償割当て)を実施しております。

この結果、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ2億71百万円減少しております。

## 3. その他

(1) 役員の変動

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間における役員の変動はありません。

なお、当第3四半期累計期間終了後、当四半期報告書提出日までに決定した役員の変動は次のとおりであります。

役職の変動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
常務取締役経営企画本部長	常務取締役経営企画本部長 兼経営企画部長	佐藤 浩一	平成30年4月1日